

地元の自然とともに

～二十歳のきしわだ自然資料館～

話題提供者 風間 美穂氏 (きしわだ自然資料館 学芸員)

本年6月1日、きしわだ自然資料館は開館20年を迎えます。この間、博物館相当施設の認定、キシワダワニに関する調査と展示、友の会の発足、きしわだ発のプログラム「チリメンモンスター」の思わぬ反響、台風による浸水被害など、ほんとうにいろいろな出来事がありました。そしてこの20年は、今や収蔵庫に収まりきれないくらい多数の標本類と、各分野や地域に広がる人や団体とのつながりをつくることができた年月でもありました。

今回は、地域密着型の小さな博物館「きしわだ自然資料館」のこれまでのあゆみのほか、地元のみなさんは普通のことと思っているかもしれないけれど、実はとても特色のある岸和田の「興味深い自然のポイント」についても紹介します。

参加無料
申込不要

日時

平成27年 6月17日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ

和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (平日終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

日 時	テーマ	話題提供者
7月15日(水) (19:00～20:30)	人工知能が浸透する 情報システムの未来	瀧 寛和 (和歌山大学長)

第71回 地域からの学びその魅力と魔力 ～「夢の種を蒔く学校と地域社会」のエピローグ～ のアンケートより

- ◇ 農業だけでなく、支援学校との連携とその問題や、つまるところ、行政的な課題に触れたり、様々な模索を知ることができ、講演が始まる前よりも面白いと思える講演でした。(40代・男)
- ◇ フィールドワークはただ調査するだけではなく、結果を社会的に還元することが重要であると認識することができました。農業とは大変重要であることも知りました。「ほんまもん」の大切さを知りました。(40代・男)

🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- ・ 資料を豊富に用意して頂けたので、**後の振り返りに良い**。(40代・男性)
- ・ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。(30代・女性)
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。(60代・男性)
- ・ 終了後の**自由参加の懇親会**が楽しい。(60代・男性)

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel & Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>



🔍 岸和田サテライト

検索 🔍